

団体名 東昌校区 活動地域 鹿児島市

1 地域の課題解決ワークショップ

(1) 地域の自慢できるところ

- ① 住民同士のつながりが強い。
- ② 自然環境が良い。
- ③ お茶の栽培が盛ん

(2) 地域活動の課題

- ① 買物支援
- ② 空き家問題
- ③ 手もみのお茶及び「まつもとまるっとマルシェ」で作られた商品の活用

(3) 地域の強み

- ① 見守りを親身にしてくれる人がいる。
- ② 支え合いマップ作成（10年間毎年）
- ③ 子どもたちが素直で積極的
- ④ あいさつが丁寧
- ⑤ 住民が優しい。

(4) 地域の資源

- ① 地域フェスタ
- ② カブトムシ
- ③ 地元の飲食店シェフ
- ④ 地域フェスタに協賛してくれる事業者
- ⑤ お茶組合



2 作成したアクションプラン「はじめの一步」

(1) 1～2か月後の取組

① 実施内容

買物弱者支援と高齢者の生きがいづくりのため、移動販売とフリーマーケットを開催する。

② 方法等

9月27日、地域住民と移動販売業者が、旧農協跡地で野菜等の販売をする。

(2) 半年後の取組

① 実施内容

地域住民の世代間交流と地域の情報発信のため東昌フェスタを開催する。

② 方法等

11月3日、東昌校区まちづくり協議会が東昌小学校でお茶の手もみ体験・販売、カブトムシの展示・販売を行うとともに、空き家の情報発信をする。

3 アクションプランの実施状況

(1) 上手くいっていること

- 今後移動販売を実施するための準備体制が整いつつある。
- 地域住民や校区の関係団体から買物支援への理解が得られ協力体制ができた。
- 移動販売の場所の確保に目途がついた。
- 地域住民の移動販売や買物支援についての関心が高まっている。
- 本研修で知りあった買物支援事業を先進的に行っている日置市社協と意見交換会を実施できた。
- 東昌フェスタを開催し、校区内の地域資源や福祉情報を掲載したボードの展示による情報発信を行ったことで、参加者間の情報共有を深めることができた。



(2) 困っていること

- 1～2か月後の取組は、日程調整が整わず、実施できなかった。
- 移動販売業者の選定が難しい。（条件面など）



4 私たちの次の一步

■ 移動販売誘致の準備を進める

- 移動販売業者選定の段取り
- 業者との交渉
- 地域の関係機関と住民への広報等に関する打ち合わせ
- 購入希望者への声かけ（アンケート調査、チラシ配布）
- 販売日程、場所の調整

団体名 鴨池校区 活動地域 鹿児島市

1 地域の課題解決ワークショップ

(1) 地域の自慢できること

- ① 人材が豊富
- ② 発信力がある。
- ③ 幅広い活動をしている。

(2) 地域活動の課題

- ① 高齢者対策
- ② 集いの場が少ない。
- ③ 多世代交流が少ない。

(3) 地域の強み

- ① いろいろなイベントを開催している。
- ② 学校が協力的
- ③ プロスポーツチームの協力がある。

(4) 地域の資源

- ① 利便性がよい。
- ② 県庁や球場がある。
- ③ 鴨池中ボランティア部
- ④ 高齢者110番
- ⑤ 見守りコール
- ⑥ コミュニティFM
- ⑦ プロスポーツチーム(鹿児島ユナイテッドFC、鹿児島レブナイズ)
- ⑧ 月1のあいさつ運動とリサイクル運動(古油、古タオル)



2 作成したアクションプラン「はじめの一步」

(1) 1～2か月後の取組

- ① 実施内容
多世代交流のため、「鴨カムサデー」や「健康まつり」、「かもなか祭り」などのイベントを実施する。
- ② 方法等
9月～10月に、学校や病院においてコミュニティ協議会、NPO法人、学校等とタイアップして行う。

(2) 半年後の取組

- ① 実施内容
地域の交流(多世代交流)のため、イベント(もちつき、新春走り初め)を実施する。
- ② 方法等
年末年始に、真砂公園、県庁周辺で、地域住民(子ども・大人も交えて)が体験する。

3 アクションプランの実施状況

(1) 上手くいっていること

- 1～2か月後の取組に挙げていた「鴨カムサデー」、「健康まつり」、「かもなか祭り」では、子どもから高齢者まで多くの方が参加し、多世代交流を図ることができた。
- 各イベントや地域活動の取組には、鴨池コミュニティ広報誌「L.L.かもいけ」の広告収入等を活用している。
- 中学校のボランティア部や若い世代の協力があった。
- 校区内のお店や学校、病院等と連携した。
- 半年後の取組に挙げていた「もちつき」も、子どもから高齢者まで多くの方が参加し、みんなで、つくたてのもちを食べて楽しんだが、「新春走り初め」は、悪天候が予想されたため中止となり、ぜんざいの振る舞いをメインとしたイベントに変更して実施した。



(2) 困っていること

- 長期的な視点が不足し、将来的な担い手が出てくるか不安
- 地域の人材発掘
- マンションばかりで近所づきあいが少ない。



4 私たちの次の一歩

■ 高齢者同士の交流

シニアベア交流会(仮)

- 日時：春先(5月連休明け)
- 場所：ラウンドワン
- 周知方法：鴨池コミュニティ広報誌「L.L.かもいけ」に掲載したり、コミュニティ協議会、サロン、民生委員などを通して地域の高齢者に声かけをする。
- 内容：グループライン作成、カラオケ、ボウリング、ゲーム等
- 必要な物：送迎バス、参加費

団体名 土橋校区 活動地域 日置市

I 地域の課題解決ワークショップ

(1) 地域の自慢できるところ

- ① 自然が豊か
- ② 地域全体の交流がある。
- ③ 買物支援がある。

(2) 地域活動の課題

- ① 買物難民
- ② 担い手不足
- ③ 空き家対策

(3) 地域の強み

- ① みんなの協力がある。
- ② 地域も学校も協力的
- ③ 子どもたちの素直さ
- ④ 団結力がある。

(4) 地域の資源

- ① 子ども達を見守る存在
- ② おばあちゃんの知恵
- ③ 地域の人が作った野菜(カフェの料理に活用)
- ④ 学校の運営委員、民生委員、カフェ運営をしている〇〇さん
- ⑤ ワークショップ(あくまき、だんご、もちつき、漬物づくり)
- ⑥ 地域の男性による灯籠づくり、しめ縄づくり



2 作成したアクションプラン「はじめの一步」

(1) 1～2か月後の取組

- ① 実施内容
地域交流のため、親子教室を開催する。
- ② 方法等
12月1日に、地域の高齢者が、土橋小学校で、「もちつき体験」を開催する。

(2) 半年後の取組

- ① 実施内容
独居高齢者の交流の場を確保するためにシニア友活を開催する。
- ② 方法等
2月14日に、「古民家カフェ&雑貨ひまわり」で、食事を作りながら誰もが参加・交流できる場を設ける。

3 アクションプランの実施状況

(1) 上手くいっていること

- 1～2か月後の取組に挙げていた「もちつき体験」では、地区公民館を中心として、地域住民の協力を貰いながら実施し、世代間交流を図ることができた。
- もちつき体験では、あんこ作りやもちつきの名人がいたり、土橋小学校で作っているもち米を使ったり、校長先生も参加してくれた。
- ○さんと△さんが中心となってまとめてくれて、準備や打ち合わせもスムーズに行えた。



(2) 困っていること

- 全ての取組を実施するにあたって、予算面、場所や会場、開催時期の調整に苦労した。
- もちつき体験では子どものいない地域の参加が少なかった。



4 私たちの次の一歩

■ 半年後の取組「シニア友活」の実施

芋煮会（65歳以上を対象）

- 日時：令和7年2月14日（金）10：00～
- 場所：土橋地区公民館
- 会費：700円
- 周知：手づくりチラシを公民館や各施設等に掲示したり、地域のボランティアさん（民生委員、在宅福祉アドバイザー、地区公民館）から声掛けをしてもらう。
- 内容：レクリエーションで交流を図り、芋煮を作って全員で食べる
- 必要な物：体力、笑顔、やる気

実施状況

- 今回初めての取組であったが、参加者からは「楽しかった」「また参加したい」「次は土橋の特産品販売もしたらよいのでは」等、多くの声をいただいた。



団体名 平田潟・岩戸・木場地区 活動地域 枕崎市

Ⅰ 地域の課題解決ワークショップ

(1) 地域の自慢できるところ

- ① 自然が豊か
(海や温泉、火之神公園・園見岳の景観など)
- ② 「鰐」に関する地場産品が豊富にある。
- ③ 人情味のある人が多い。

(2) 地域活動の課題

- ① コロナ禍以降、地域自治会・子ども会活動が廃止や縮小されたままとなっている。
- ② 地域自治会や地域活動に参加する高齢者が少なくなっている。
- ③ 地域自治会の退会が多くみられる。
- ④ 地域の商店が閉店し、買い物が不便になっている。



(3) 地域の強み

- ① 住民の団結力が強い。
(ゴミ屋敷問題を行政と共に解決した。)
- ② 住民同士の助け合いがある。
(在宅福祉アドバイザー制度が定着している。)
- ③ 地域の横のつながりや連携力がある。



(4) 地域の資源

- ① 豊かな自然や景観
- ② 特産品(ぶえん鰐、かつお本枯れ節、焼酎など)
- ③ 新しい住民の若い力
- ④ ベテランの民生委員

Ⅱ 作成したアクションプラン「はじめの一步」

(1) 1～2か月後の取組

- ① 実施内容
地域交流として、子どもとの交流と見守りを行う。
- ② 方法等
夏休み期間中に、民生委員が中心となって、各公民館でラジオ体操に参加する。

(2) 半年後の取組

- ① 実施内容
地域活動への理解を深めるため、地域住民と子どもたちとの世代間交流を図る。
- ② 方法等
1月上旬に、育成会と民生委員や児童委員等の地域活動者を中心となって、公民館で子どもたちと「もちつき」をする。

3 アクションプランの実施状況

(1) 上手くいっていること

- 小・中学校の保護者会を通じて、夏休みに各地区のラジオ体操に参加できた。
- ラジオ体操の当番を子どもたちで決めることで、自主性が生まれた。
- 保護者と子どもの顔を覚えて、関わりができた。
- 敬老の日に子どもたちからのメッセージカードを配布できた。

(2) 困っていること

- 地域に小学校高学年の子どもがおらず、低学年や未就学児が多い。
- 年齢構成がアンバランスになっており、部活動等で休みも家にいないことが多いので活動への参加者が少ない。
- 子ども会会長の意向等で、地域自治会活動に対する参加等が左右される。



4 私たちの次の一歩

■ 半年後の取組「世代間交流会」の実施

もちつき大会をしたい

- 日 程：年末
- 場 所：地域の広場
- 参加者：子ども会や壮年部など地域住民
(チラシやグループラインなどで呼びかけ)

実施状況

- 年末に実施予定だったが、もちつきの指導者と地域自治会との日程が整わず、実施出来なかった。
- 1月に公民館長、民生委員と地域の子ども達で新年のあいさつと安否確認を兼ねて、独居高齢者宅を訪問し、縁起物の鰐の角煮を渡した。
(「鰐はかつ男といわれ、病気等にも打ち勝つ力がある」と言われている。)



団体名 川尻蛭子お助け隊 活動地域 指宿市

I 地域の課題解決ワークショップ

(1) 地域の自慢できること

- ① ウミガメが上陸し産卵する砂浜がある。
- ② 人が温かく、つながりが強い。
- ③ 自然が豊か（開聞岳、オリビン（鉱物）、新川など）

(2) 地域活動の課題

- ① 道路・空き地・空き家の草木の管理がされていない。
- ② 地区の奉仕活動や地域活動に若者の参加が少ない。
- ③ 高齢者が集まれる場所が少ない。

(3) 地域の強み

- ① 人望とリーダーシップがある区長、集落長がいる。
- ② 川尻元気プロジェクトがある。
（移住支援・空き家の清掃など）
- ③ 消防団員が元気に活動している。

(4) 地域の資源

- ① 川尻保育園
- ② 浄念寺会館
- ③ 枚聞神社の例大祭
- ④ レジャーセンターかいもん
- ⑤ 長寿会
- ⑥ グループホーム（オリビンの風）



2 作成したアクションプラン「はじめの一步」

(1) 1～2か月後の取組

① 実施内容

地域の高齢者の居場所づくり・交流に取り組み、また、祭りに参加する担い手づくりを進める。

② 方法等

見守りグループが中心となり、浄念寺会館でお茶飲みとカラオケのできるサロンを作る。

10月に枚聞神社で行われる「ほぜ祭」で、稚児行列や神輿担ぎに参加する若者に担い手の協力依頼を区と連携して行う。

(2) 半年後の取組

① 実施内容

空き家・空き地の草木の管理をするために、有償ボランティアを立ち上げる。

② 方法等

2月までに、川尻元気プロジェクトや消防団員を中心に、高齢者宅や空き地の草木などの管理をする有償ボランティアを立ち上げる。

3 アクションプランの実施状況

(1) 上手くいっていること

- 浄念寺会館で参加費を集めてサロンの開催ができた。今後も年間計画を立てて続けていきたい。
- 75歳以上の独居高齢者の参加は少なかったが、友達を誘って来てくれる方もいてお互いの顔を知ることができた。
- 10月に、枚聞神社のなおりい（共飲共食儀礼）で若者と交流し、担い手の協力依頼ができた。
- 有償ボランティアについては、自治会・元気プロジェクト・消防団の各代表によりニーズの把握や価格について等の調査方法等について話し合いが数回持たれた。（立ち上げは未定）

(2) 困っていること

- サロン参加者を増やしたいが、60代の勤めている方や男性など、声をかけにくい方の対応に苦慮している。
- 神輿担ぎなどは平日に実施するため、若い人の参加が少ない。



4 私たちの次の一歩

■ 交流会の開催

新年のおめでとう会を実施したい！

- 日程：1月中
- 場所：浄念寺会館
- 集落の75歳以上の方を対象に声をかける。
- 見守りグループの構成員が中心となって、茶話会やビンゴゲーム大会などを行い賞品を渡す。

実施状況

- 年末から新型コロナウイルスの感染が流行していたため、1月は中止した。今後の実施は未定。

団体名 木之元自治会 活動地域 南九州市

1 地域の課題解決ワークショップ

(1) 地域の自慢できるところ

- ① 自然が豊かで、眺めが良い。
- ② 自治会内での人のつながりが強く協力的
- ③ 高齢者が元氣

(2) 地域活動の課題

- ① 一人暮らしの方が増えて個々のつながりがなくなっていくことが心配
- ② 愛護作業の人手不足
- ③ 子どもが少なく、また、地域の人口も減少しており、自治会活動が成り立っていかなくなるおそれがある。



(3) 地域の強み

- ① にぎやかに楽しんでいるサロンがある。
- ② 行事に積極的に関わってくれる人が多い。

(4) 地域の資源

- ① ユーモアのある高齢者
- ② 子ども食堂
- ③ 地域のサロン
- ④ ひまわりバス（拠点間等コミュニティバス）
- ⑤ Aコープの移動販売車
- ⑥ デイサービス



2 作成したアクションプラン「はじめの一步」

(1) 1～2か月後の取組

① 実施内容

地域住民と自治会の交流を図るため、あくまきの手作り体験をする。

② 方法等

9月初旬に、きのめ会サロンが中心となって自治公民館で一人暮らしの方や地域の方と「あくまきづくり」をする。

(2) 半年後の取組

① 実施内容

自治会活動への理解を深めるため、地域住民や子ども、自治会員などの地域活動者との世代間交流を図る。

② 方法等

1月上旬に、きのめ会会員と地域活動者が中心となって、自治公民館で地域住民や子どもと「ぼたもちづくり」をする。

3 アクションプランの実施状況

(1) 上手くいっていること

- 9月7日にサロンメンバーと校区外からの参加者18名で「あくまきづくり」ができた。
- 参加した子どもたちと、わいわい話しながら準備し、3時間かかって出来上がった「あくまき」をみんなで食べた。
- 次回のサロンでの計画を話し合えた。

(2) 困っていること

- 一人暮らしの方にも声かけをしたが、自治公民館で賑やかに大勢でいたためか、尻込みして参加できなかった人がいた。
- あくまきが苦手なのか、若い人の参加者が少なかった。



4 私たちの次の一歩

■ 世代間の交流会を開催

「ぼたもちづくり」を通して交流会をしたい！

- 日程：1月8日（土）14時から
- 場所：木之元振興センター
- 小学校へのチラシ配布が当日になったため、小学生の参加者はなかったが、地域の方で「ぼたもち」を作ってみなで食べた。



団体名 中福良地区 活動地域 南九州市

I 地域の課題解決ワークショップ

(1) 地域の自慢できるところ

- ① 風光明媚
- ② 元気な高齢者が多い。
- ③ 人がやさしく、思いやりがある。

(2) 地域活動の課題

- ① 地区の商店が閉店し、買い物が不便
- ② 住民票の取得など各種公共手続きに行くためのバスが不便
- ③ 移動手段が少ない。



(3) 地域の強み

- ① 人望があり、まとめ役でもある、OさんとSさんがいる。
- ② 公民館活動が毎日ある。

(4) 地域の資源

- ① サロン・地域の集まり
- ② 共感し支えてくれる人材
- ③ 地区公民館・郵便局
- ④ ひまわりバス（拠点間等コミュニティバス）
- ⑤ 移動販売所



2 作成したアクションプラン「はじめの一步」

(1) 1～2か月後の取組

① 実施内容

地区の高齢者に楽しく買い物をしてもらう「買い物ツアー」を実施する。

② 方法等

9月に、中福良老人クラブを中心に社協に車両の提供と協力をもらって、地区の高齢者に「川辺道の駅」での買い物ツアーに参加してもらう。

(2) 半年後の取組

① 実施内容

地区の高齢者の交流を深め、買物支援を図るため、ドライブサロンを立ち上げる。

② 方法等

1月頃に、中福良老人クラブを中心に社協と協力しながら、南九州市内でドライブサロンを実施する。

3 アクションプランの実施状況

(1) 上手くいっていること

- 買い物ツアーの車両の確保ができた。
- 11月中旬に市社協の車両で職員に運転してもらい、A Z川辺店へドライブサロンをモデル的に実施した。
(ドライブサロンへの期待が多く寄せられた。)

(2) 困っていること

- 買い物ツアーの運転手を探すのに時間がかかり、実施できなかった。
- 日中のデイサービスや病院等への移動支援を希望される方がいるので、対象を絞り込む判断が難しかった。



4 私たちの次の一歩

■ ドライブサロンの立ち上げと開催

移動支援のニーズを把握し、ドライブサロンとして活動したい！

- ルールを作る：対象者、頻度、場所、運航計画など
- 説明会の実施：自治会と住民を対象に実施
(出来ること、出来ないことを理解してもらう)
- 協力者の確保：ボランティア、有志の募集
- 活動のふり返り：アンケート、聞き取り

実施状況

- 先駆的にドライブサロンを実施している鹿屋市社協に聞き取り調査を実施し、以下の問題点が解決できないため、立ち上げはストップしている。
 - ・車両を確保するための自主財源
 - ・運転手の確保
 - ・道路運送法の整理等

団体名 川辺町清水・野崎地区 活動地域 南九州市

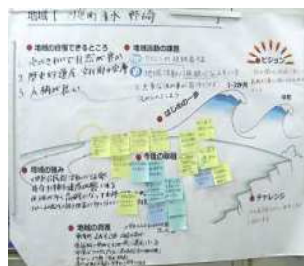
1 地域の課題解決ワークショップ

(1) 地域の自慢できること

- ① 清水の湧水があり、自然が豊か
- ② 歴史的遺産、文化財の宝庫
- ③ 人柄が良い。

(2) 地域活動の課題

- ① サロン活動の後継者不足
- ② 地域活動に無関心な人もいる。
- ③ 大事な決め事が男性だけで決められてしまう。



(3) 地域の強み

- ① 公民館活動が活発
- ② 連絡体制の連携が密
- ③ 田畑が多く、高齢になっても体を動かせる。
- ④ 後継ぎがいる世帯が多く居住している。

(4) 地域の資源

- ① サロン活動に参加してくれる、市役所・JA等のOB・OG
- ② 有償ボランティアグループ（清水お助け隊）
- ③ サロン活動
- ④ 清水地区公民館での子どもの見守り
- ⑤ 学校を盛りあげる小学生



2 作成したアクションプラン「はじめの一步」

(1) 1～2か月後の取組

- ① 実施内容
サロン活動を活発にするために、参加者を募集し、活動のアピールをする。
- ② 方法等
サロン支え合いメンバーでサロン活動のアピールチラシを作り、地域一円を訪問し、活動内容等を説明するとともに参加を呼びかける。

(2) 半年後の取組

- ① 実施内容
地域活動への理解を深めるため、地域住民とサロン活動者との世代間交流を図る。
- ② 方法等
1月に、自治会会員とサロン活動者が中心となって、公民館でサロン設立3周年記念パーティーをする。

3 アクションプランの実施状況

(1) 上手くいっていること

- サロン（さくらんぼ会）の参加者募集と活動内容をチラシで分かりやすく伝える事ができて、参加者が2名増えた。

(2) 困っていること

- サロン活動を運営するリーダーになる人がいない。
- ボランティア後継者育成のためのサポーター養成講座の実施がない。
- サロンに男性会員を増やすための工夫



開催予定日	開催地	活動内容	備考
令和5年 5月 25日(土)	JAサクラんぼ会館(清水町清水)	年賀1年間の振り返り(自己紹介)	花見会開催
令和5年 6月 15日(土)	清水町公民館(清水町清水)	梅・桜の鑑賞(清水町清水)	花見会開催
令和5年 6月 22日(土)	清水町公民館(清水町清水)	梅・桜の鑑賞(清水町清水)	花見会開催
令和5年 6月 29日(土)	清水町公民館(清水町清水)	梅・桜の鑑賞(清水町清水)	花見会開催
令和5年 7月 6日(土)	清水町公民館(清水町清水)	梅・桜の鑑賞(清水町清水)	花見会開催
令和5年 7月 13日(土)	清水町公民館(清水町清水)	梅・桜の鑑賞(清水町清水)	花見会開催
令和5年 7月 20日(土)	清水町公民館(清水町清水)	梅・桜の鑑賞(清水町清水)	花見会開催
令和5年 7月 27日(土)	清水町公民館(清水町清水)	梅・桜の鑑賞(清水町清水)	花見会開催
令和5年 8月 3日(土)	清水町公民館(清水町清水)	梅・桜の鑑賞(清水町清水)	花見会開催
令和5年 8月 10日(土)	清水町公民館(清水町清水)	梅・桜の鑑賞(清水町清水)	花見会開催
令和5年 8月 17日(土)	清水町公民館(清水町清水)	梅・桜の鑑賞(清水町清水)	花見会開催
令和5年 8月 24日(土)	清水町公民館(清水町清水)	梅・桜の鑑賞(清水町清水)	花見会開催
令和5年 8月 31日(土)	清水町公民館(清水町清水)	梅・桜の鑑賞(清水町清水)	花見会開催
令和5年 9月 7日(土)	清水町公民館(清水町清水)	梅・桜の鑑賞(清水町清水)	花見会開催
令和5年 9月 14日(土)	清水町公民館(清水町清水)	梅・桜の鑑賞(清水町清水)	花見会開催
令和5年 9月 21日(土)	清水町公民館(清水町清水)	梅・桜の鑑賞(清水町清水)	花見会開催
令和5年 9月 28日(土)	清水町公民館(清水町清水)	梅・桜の鑑賞(清水町清水)	花見会開催
令和5年 10月 5日(土)	清水町公民館(清水町清水)	梅・桜の鑑賞(清水町清水)	花見会開催
令和5年 10月 12日(土)	清水町公民館(清水町清水)	梅・桜の鑑賞(清水町清水)	花見会開催
令和5年 10月 19日(土)	清水町公民館(清水町清水)	梅・桜の鑑賞(清水町清水)	花見会開催
令和5年 10月 26日(土)	清水町公民館(清水町清水)	梅・桜の鑑賞(清水町清水)	花見会開催
令和5年 11月 2日(土)	清水町公民館(清水町清水)	梅・桜の鑑賞(清水町清水)	花見会開催
令和5年 11月 9日(土)	清水町公民館(清水町清水)	梅・桜の鑑賞(清水町清水)	花見会開催
令和5年 11月 16日(土)	清水町公民館(清水町清水)	梅・桜の鑑賞(清水町清水)	花見会開催
令和5年 11月 23日(土)	清水町公民館(清水町清水)	梅・桜の鑑賞(清水町清水)	花見会開催
令和5年 11月 30日(土)	清水町公民館(清水町清水)	梅・桜の鑑賞(清水町清水)	花見会開催
令和5年 12月 7日(土)	清水町公民館(清水町清水)	梅・桜の鑑賞(清水町清水)	花見会開催
令和5年 12月 14日(土)	清水町公民館(清水町清水)	梅・桜の鑑賞(清水町清水)	花見会開催
令和5年 12月 21日(土)	清水町公民館(清水町清水)	梅・桜の鑑賞(清水町清水)	花見会開催
令和5年 12月 28日(土)	清水町公民館(清水町清水)	梅・桜の鑑賞(清水町清水)	花見会開催



4 私たちの次の一步

■ 世代間交流会の開催

サロン会員家族や自治会会員とでサロン主催の新年会をしたい！

- 日程：調整中（サロン活動日以外の土・日・祝日）
- 場所：荒殿研修館
- 内容：会食と余興（演芸、レクリエーション）並びに活動内容の動画を上映
- 新年会のチラシを作成し、サロンの世話役さんと自治会内に配布

実施状況

- 年末からの新型コロナウイルスの流行によりサロン活動を縮小しており、また、自治会の行事も立て込んでおり、世話役さんとの話し合いで、サロン設立3周年を兼ねた新年会は中止としたが、2月にサロン設立3周年を祝って、会員で茶話会をした。

団体名 伊関校区 活動地域 西之表市

1 地域の課題解決ワークショップ

(1) 地域の自慢できること

- ① 人材が豊富で協力的な人が多く団結力がある。
- ② 自然が豊かで景色がきれい。太平洋の朝日がすばらしい。
- ③ 校区の物で自給自足できる。

(2) 地域活動の課題

- ① 参加者が固定化している。
- ② 公共交通機関が限られていて自由に外出できない。
- ③ 若者が校区に残っておらず、後継者がいない。

(3) 地域の強み

- ① ボランティア活動への理解があり、協力的
- ② 横のつながりが強い。(人をよく知っている)
- ③ 地域の行事が盛ん
- ④ 移住者を受入れる精神(カシミアの心)が根付いている。
※カシミアの心：みんなに平等に接し、相手を思いやる心。
- ⑤ リーダーになれる人が多い。

(4) 地域の資源

- ① 調理員、看護師、先生などの専門職の方
- ② サロン・ふれあい交流館(むらさき食堂)などの気軽に集まれる場所
- ③ 食材を提供してくれる人の存在
- ④ 多くの頑張り屋の存在



2 作成したアクションプラン「はじめの一步」

(1) 1～2か月後の取組

- ① 実施内容
元気アップ体操の参加者を増やすため、参加を呼びかける。
- ② 方法等
9月中旬に、サロンに参加していない方を対象に、公民館で動画や写真を使って体操の楽しさを伝える。

(2) 半年後の取組

- ① 実施内容
元気アップ体操への理解を深めるため、また、世代間交流を促進するため、食事会を開催する。
- ② 方法等
1月～3月頃にサロンのボランティアが中心となって、ふれあい交流館で小学校の学習発表会後に食事会・懇談会を行う。

3 アクションプランの実施状況

(1) 上手くいっていること

- 元気アップ体操への参加を呼びかけて、参加者が増えた。
- 元気アップ体操の呼びかけや食事会について、地域の広報誌(むらさき新聞)に掲載した。
- 食事会について、地域住民と情報共有ができた。

(2) 困っていること

- 学習発表会の開催が未定
- 食事会に提供される食材が減少
- インフルエンザなどの懸念
- 食事会のレクリエーションのネタが少ない。



4 私たちの次の一歩

■ 半年後の取組「お食事会」を開催

- 日程：1月21日(火)
- 時間：10:50～
- 場所：ふれあい交流館(むらさき食堂)
- 準備：校区の75歳以上の方にチラシを配布
伊関小と日程調整
グループLINEを活用する
- 当日の内容：血圧測定→体操→レクリエーション→食事会
食事会の前に、小学生が将来の希望や感動した偉人の言葉を披露した。
陣取りや駒まわしを小学生と一緒にやった。
日程調整が急だったため、食事会は高齢者だけとなった。



団体名 安納校区 活動地域 西之表市

1 地域の課題解決ワークショップ

(1) 地域の自慢できること

- ① 地域のつながりが強い。
- ② 支援体制ができている。
- ③ 安納芋をはじめとして、資源が豊富である。

(2) 地域活動の課題

- ① 老人クラブがなくなったことで元気アップ体操への男性の参加がない。
- ② 集落ごとの参加者に偏りがある。

(3) 地域の強み

- ① 行動力のある人材がいる。
- ② 保育園・小学校がある。
- ③ 校区にまとまりがある。

(4) 地域の資源

- ① よいら〜いき祭り
- ② 地域のイベント等と連携してくれる企業
- ③ 世話好きな人の存在
- ④ おかず屋「おれんじ」



2 作成したアクションプラン「はじめの一步」

(1) 1〜2か月後の取組

① 実施内容

サロン「あんのう お〜い！元気が〜い？！」が開催する笑運動会への参加者を増やすため、普段、笑運動会に参加していない人にも呼びかけて体験してもらう。

② 方法等

「あんのう お〜い！元気が〜い？！」の支援者が敬老会の記念品を配布する際にチラシも一緒に渡す。

(2) 半年後の取組

① 実施内容

「安納おおきに祭り」への男性参加者に役割を持って参加を促す。

② 方法等

12月中旬頃に、安納校区で開催される「安納おおきに祭り」で、男性に役割を持ってもらう。

3 アクションプランの実施状況

(1) 上手くいっていること

- 「あんのう お〜い！元気が〜い？！」が開催する笑運動会が大盛況に行えた。その結果、女性が新しくサロンに加入した。

(2) 困っていること

- 男性参加者がいないので、「安納おおきに祭り」の役割をお願いできなかった。
- 元気アップ体操が認知されていないので、サロンに男性が参加していない。



4 私たちの次の一歩

■ サロン（男性部）の立ち上げ

男性にサロンを理解してもらうために、体験会を開催する。

- 日程：令和7年1月中旬
- 内容：ポッチャなどのスポーツ等
- 場所：区長事務所

実施状況

通常のサロン活動が忙しくて男性サロン体験会は中止したが、5月以降にサロンの活動に男性を誘って理解を深めてもらうことを予定。

団体名 野間校区 活動地域 中種子町

1 地域の課題解決ワークショップ

(1) 地域の自慢できること

- ① 人のつながりが深い。
- ② 生活するための店（Aコープ、サムズ）が多い。

(2) 地域活動の課題

- ① 病院や役場への移動手段が少ない。
- ② 役員のなり手がいない。
- ③ 老人クラブ、サロン活動に魅力がない。

(3) 地域の強み

- ① 島の中心にあるため、便利。
- ② 人が集まる場所が多い。
- ③ 組織としてのつながりが残っている。

(4) 地域の資源

- ① 学校（運動会などで人が集まりやすい。）
- ② 太陽の里公園（イベントで人が集まる。）
- ③ 集落のゲートボール場（高齢者の憩いの場）



2 作成したアクションプラン「はじめの一步」

(1) 1～2か月後の取組

- ① 実施内容
老人クラブとサロンのつながりを深めるため、町内の元気なシニアの活動や魅力を伝える町内シニア新聞を発行する。
- ② 方法等
10月に、行政・社協と連携して、町全域に幅広く配布する。

(2) 半年後の取組

- ① 実施内容
役員の負担軽減策を検討する。
- ② 方法等
高齢者が集まる各種イベント等で、行政が中心になってアンケートを実施し、各種連携機関と協議する。（令和7年度実施予定）

3 アクションプランの実施状況

(1) 上手くいっていること

- 町役場、社協、老人クラブ、サロン等と連携してシニア新聞を作り、町民が手に取れる場所（役場、社協の窓口など）に設置できたため、老人クラブやシニアクラブの活動を町民に知っていただけた。
- 新聞で活動を知ってもらうことが、老人クラブやサロン活動していく上で励みになる。
- 町の老人クラブ役員と一緒に、シニア新聞の記事について話し合う機会を設けることができた。

(2) 困っていること

- 紹介したい活動がたくさんあるので、一回では掲載しきれない。
- 発行にあたって、地域住民ではなく、行政・社協が主になって動くことになったので、費用も含め、今後も継続していけるか不透明。



4 私たちの次の一歩

■ 中種子町シニア新聞 第2号発行

～中種子町シニア新聞の継続発行を！～

- 日程：令和7年3月25日以降に発行予定
- 内容：町内で行われた魅力あるシニア活動
- 将来は、住民が取り組める新聞発行へと移行できるようにしたい。



団体名 荃永・西野・島間地区 活動地域 南種子町

Ⅰ 地域の課題解決ワークショップ

(1) 地域の自慢できるところ

- ① 地域のつながりが強い。
- ② 地域内の美化活動が盛ん
(町がきれい。)
- ③ 昔からの伝統行事を大切に守っている。

(2) 地域活動の課題

- ① 買い物、病院への移動手段がない。
- ② 移動販売車の導入が進まない。
- ③ 地元商店の利用促進

(3) 地域の強み

- ① 地区公民館に支え合い推進員（生活支援コーディネーター）が配置されている。
- ② リーダーとなる人がいる。
- ③ 地域のまとまりが強いので、行事をみんなで取り組むことができる。
- ④ 人のつながりが強いので、情報伝達が早い。
- ⑤ 自給自足ができていの方が多い。

(4) 地域の資源

- ① 昔からの商店
- ② いろいろな技術、知識を持っている移住者
- ③ 耕作できる多くの田畑
- ④ 多くの自然



2 作成したアクションプラン「はじめの一步」

(1) 1～2か月後の取組

- ① 実施内容
移動手段の確保のため、買物支援・病院送迎を行う。
- ② 方法等
9月から、荃永ボランティアグループが町内高齢者を対象に、500円で自家用車（社協のボランティア保険に加入）を使って送迎をする。

(2) 半年後の取組

- ① 実施内容
移動支援をより便利にするため、エリアを拡大し、買物支援・病院送迎のバージョンアップを行う。
- ② 方法等
12月から、町内のサロンが町民を対象に、各地区でも買物支援・病院送迎のボランティア活動を実施。

3 アクションプランの実施状況

(1) 上手くいっていること

- 無償ではなく500円（ワンコイン）という利用料をいただくことで、利用者が声をかけやすくなり、買物支援がうまくいくようになった。

(2) 困っていること

- 若い人の協力が少ない。
- 病院に連れて行った際に付き添いまで必要になってきた。



4 私たちの次の一歩

- 今後、利用者が増えたら移動エリアの拡大を行い、買物支援・病院送迎のバージョンアップを行う。

- それぞれの地区でのサロンを増やす。

～地域での活動の充実～

- 校区及びJA女性部会を通じてサロンの設立に取り組む。
- 体操教室などに参加している方に声をかける。
- サロン活動の中に、買物支援や食事の手伝いを取り入れる。



団体名 宮之浦区 活動地域 屋久島町

Ⅰ 地域の課題解決ワークショップ

(1) 地域の自慢できるところ

- ① 病院、店、港等、生活が便利
- ② 子育て環境が整っている。
- ③ 伝統行事が伝承されている。

(2) 地域活動の課題

- ① 人材不足
- ② 買い物、サロン等への移動手段不足
- ③ ゴミ問題対策

(3) 地域の強み

- ① 地区の行事を大切にしている。
- ② ボランティアがサロン活動に参加し、集いの場、サロンを支えている。
- ③ 交通の便が良い。
- ④ 新しい活動にチャレンジする体制がある。
- ⑤ 店、病院、介護施設が多い。

(4) 地域の資源

- ① 白谷雲水峡等の観光地
- ② 地域活動を支援してくれる事業所
- ③ 地域食堂
- ④ スポーツ・交流する場や活動



2 作成したアクションプラン「はじめの一步」

(1) 1～2か月後の取組

- ① 実施内容
サロン参加者をサポートするボランティアを増やすため、サロンやボランティア募集について広報・周知する。
- ② 方法等
8～9月に、区役員が中心となって、区全域に町報への折込みや放送を行う。

(2) 半年後の取組

- ① 実施内容
ボランティア人材を増やすため、ボランティアバンクを創設する。
- ② 方法等
2月頃に、区役員が中心となって宮之浦公民館で、広報・区内放送を行う。

3 アクションプランの実施状況

(1) 上手くいっていること

- サロンの広報・周知のチラシを作成し、11月10日発行の町報の折込で区の全戸へ配布した。
- サロンが変わりなく開催できている。（口コミでボランティアの事が伝わる。）

(2) 困っていること

- 町報に折り込んだチラシへの反応が特になかった。
- サロンの広報・周知の放送内容をどうしたらいいか。
サロンの前日に放送を入れるのは？
準備の関係で急に参加者が増えたと困る？
通常のサロンの時なら大丈夫？
- ボランティアバンクや区内放送は、各団体との調整が整わず実施できなかった。



4 私たちの次の一歩

■ ボランティアを増やすための取組を行う。

- サロンの広報・周知のチラシだけではボランティアが増えないので、1月12日（日）の「新春グラウンド・ゴルフ初打ち大会」で周知しようと考えていたが、雨のため、大会が中止となった。
- 屋久島町協議体において3月23日（日）にウォーキング大会を実施する計画を立てているが、高齢者と育成会等との調整が必要であるとの意見が出て検討中。
- ボランティア参加の直接呼びかけ
- チラシの配布（ボランティア+サロンの会員）
- 区内放送
- 友愛会（老人クラブ）との連携

団体名 松峯区 活動地域 屋久島町

1 地域の課題解決ワークショップ

(1) 地域の自慢できるところ

- ① 子育てがしやすい。
- ② 環境整備に力を入れている。
- ③ 異年齢交流を盛んに行っている。

(2) 地域活動の課題

- ① 地域活動に参加する人が少なく、固定化している。
- ② サロンの参加者が少ない。
- ③ 県道までが遠く、買い物、通院、ゴミ捨てが大変

(3) 地域の強み

- ① 子どもが多く高齢者の割合が低い。
- ② 育成会活動が活発
- ③ グラウンド・ゴルフを盛んに行っている。
- ④ 元気な高齢者が多い。
- ⑤ 婦人部がよく掃除してくれる。

(4) 地域の資源

- ① 住宅を建てる豊富な土地
- ② お土産店などの商店
- ③ 茶畑
- ④ 磯辺海岸（遊び場になっている。）



2 作成したアクションプラン「はじめの一步」

(1) 1～2か月後の取組

① 実施内容

仲間を増やすため、おためしサロン体験を行う。

② 方法等

名簿を作成してグラウンド・ゴルフの日に声をかける。チラシも活用。

(2) 半年後の取組

① 実施内容

地域住民のため、デイサービス送迎車を活用した買物支援を行う。

② 方法等

今年中にボランティア2名1組で実施。利用についての詳細は、話し合いで決めていく。

3 アクションプランの実施状況

(1) 上手くいっていること

- 1～2か月後のおためしサロン体験の結果、参加者が4人増えた。
- 10月11日に買い物お試しツアーを実施できた。（以下半年後の取組）
- 買い物お試しツアーは、スタッフを含めた9人で行い、利用者からは「楽しかった。助かった。」という喜びの声があった。

(2) 困っていること

- 運転手や助手が足りない。
- スタッフの後継



4 私たちの次の一歩

■ 買い物ツアーの充実 買い物ツアーの継続 実施状況

- 10月12月1月の3回実施（2月末時点）
- 費用：1人当たり150円程度
（ガソリン代・ボランティア行事用保険料）
- 利用者：5人程度／1回

